

変転する世界におけるロータリー

われわれは課題に答えるであろうか？



Rotary in a changing World. Will we meet the challenge?

私の学校の先生であったある辛捧強い女性とのやりとりは私の少年時代の忘れ得ぬ出来事となっている。その日彼女は放課後私に居残りを命じ私の母と相談していた。級友達は私が独り心配そうに坐って私の運命を待っているのに外でたのしげに遊んでいた。とうとう私は呼ばれて、私の「態度」に何か悪いところがあると聞かされた。私の朗読については文句はなかつたらしいのであったが、所謂態度なるものが級の他の者に悪い影響を与えているというのであった。その上、私が試験をどんなによく出来ても私の態度が変らぬ限り上級に行くことは出来ぬという最後通告をされてしまったのである。その後私が上級に行くことが出来たのを見ると私の態度も変ったのに相違ない。それ以来私はずっと態度というものの重要さを痛感してきた。

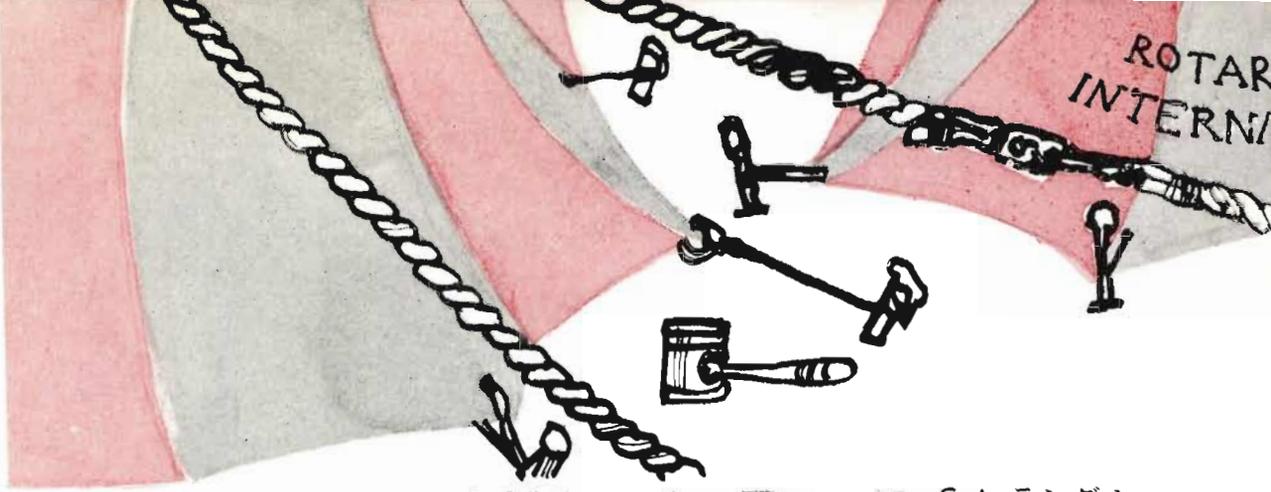
急速に変化しつつある時代の速度は吾々に態度の再検討を命じている。すなわちクラブにおける、地域社会における、そして世界におけるロータリーを新しく見つめることを、然してまた新たな諸問題を理解するよう努力しそれ等を急速に解決するように努力することを命じているのである。吾々は変転する世界のいどみに応えるよう要求されているのである。この変転する世界においては吾々の態度が最も重要なことなのである。

これは技術よりも大切なことなのだ。今日の技術は今より10年後には殆んど無用のものとなってしまふかもしれない。今日最も能率的とされている技術のうちのあるもので10年前は殆んど無価値のものであったものもある。第2次世界大戦の終りにおける恐るべき武器は今やすでに時代遅れなものとなり、そして不幸にももっと恐ろしい武器にとって代わられている。然し吾々の態度というも

のは永久に効力のあるものなのであるということを目覚めさせている。その態度を再検討し、その目的における信念を新たにし、また適切な行動をとることによって、すべてのロータリアンは将来を造るのに助力することが出来るのである。

吾々の目的を達成するためには、奉仕における何等かの新しい、きわだった概念を必要とするかも知れない。それはロータリーの理想が、現在、明白に必要とされており、そしてその達成の有望な機会があるところの事業、地域社会、及び国際関係の未知の諸領域における各人の試練を要求するものであるかも知れない。

ロータリーの会員であるということは大きな特権であるということを目覚めさせるべきではないか。然しこれはそれ以上の何物かであるべきである。吾々の手には世襲財産が残されている。吾々は代々のロータリアンが普遍的に受け入れられる原則の上に築いた壮大な計画の相続者である。この世襲財産を後に続くものの為に強化することが吾々の課題である。このことは確にクラブにおける会員たるの最少限の義務を単に守っていくということ以上の何物かを要するものである。すべてのロータリアンが奉仕の十字軍として、各々が自己のクラブを強力にし効果的ならしめるのに、より深く献身することが必要となってくるのである。この十字軍において吾々のすべては来るべき年度におけるそれぞれの個人的目標を立てようではないか。吾々のクラブの効果を大ならしめ、そしてそれによってこの世襲財産を強化するために、より多くの人々を仲間に入れるという個人的義務を感じなければならない。現代における新しい技術、新しい手法、新しい産業は、その応用し得る職業分類について全面的に新しい見透を提起してい



by Clifford A. Randall

国際ロータリー会長 C. A. ランダル

る。それ等の職業分類を補充するため新会員を動員することは、一委員会又はクラブ役員にのみゆだねておくべきことではない。これは吾々各自がこの年度の個人的目標の中に入れておかねばならない責任の一であり、——吾々の世襲財産を強化する上に最も重要な要素なのである。

すべてのロータリアンが今年度の個人的目標の一部としてロータリーの綱領をそれぞれの事業生活の中において分け合うという望みをかかけるように期待出来ないであろうか。吾々が働く場所の入口を入るとき、この望みを後に残してしまふとすれば、職業奉仕における吾々の高い目的は、単なるお題目となってしまうであろう。仕事の中においてロータリーの綱領を分け合うということは、今日の特別な課題である。技術と科学は、日常の仕事次第に非人間的なものにしてしまっている。使用人、雇主、顧客、依頼人、そして競争業者との人間対人間としての接触の機会はずっと減少して来ている。然しながらロータリーの理想の必要性が、この変化しつつある日常の状況において消失してしまったということを示唆するものは何もない。反対に、圧迫と緊張のこの時代において、他人の見解を理解する必要性がかってより重要になっているのである。

私は、また、吾々の職業を通じて青少年に奉仕する偉大な機会を探究することを、貴方がたにおねがいする。若い人達に職業情報を分け合うとき、非常に大きな貢献以上のものをなし得るのである。そしてまた、彼等とともにロータリーの綱領を分かち合うことが出来、そうすることにおいて将来を造るのに真に助力することが出来るのである。このように、若い人々のために職業とそして職業の機会を説明してやることに加えて、彼等の

仕事を通して奉仕の機会についての視野を与えることが出来るのである。職業とは社会に奉仕する機会であるという概念を若人達に気付かせることによって、実際にロータリーの根を深めることが出来るのである。

吾々の態度を再検討するに際して、この人工衛星時代において地域社会の必要としているものを決定するように努力しようではないか。今日の地域社会は複雑である。今日地域社会構成員をとりかこむ問題は以前の時代が直面していたものとは遙るかに異なっている。これ等は世界を分割し、そしてその不穏な影響を吾々の町に、市に、そして村におしつけて来ているところの思想的争闘、政治的、経済的、人間的要素の多様性により生ずる民族的社会的緊張、科学進歩によってもたらされた恐るべき速さの変化、そして増大する人口の絶対的圧力などの結果である。このことは、ロータリアンとして吾々の個人的責任が善良な市民としての伝統的かつ習慣的活動以上の何物かを予期しているのだということを示唆しているのではなからうか。

すでに試験ずみのロータリープログラムから逸脱することを、私は支持しない。善なる事を継続的に支持することによって、われわれの地域社会を改善する努力には少しの休止もあってはならない。少年少女のための夏季キャンプ、孤児院、養老院、身体障害者施設、新地域社会センター、新図書館、又は水泳プールのようなことを援助する努力を瞬時たりといえども緩めてはならない。然し私は今後13年間に、吾々が核時代そして宇宙時代に入っているだろうということを諸君に注意する。今日、新しい環境に新しい欲求があり、



今秋開かれる地区年
次大会に 来 朝 する
R. I. 会長代理 紹介

国際ロータリー第1副会長小林雅一君は、第350区年次大会に会長代理として出席されるが、10月中に行われる他の4地区年次大会には元R. I. 副会長ハルゼーB. ナップ氏がランダル会長代理として来日されることに決定しました。

ナップ氏は1953～54年度のR. I. 第1副会長であり、アメリカ、ニューヨーク州、ファーミングダールの出身、現在はフィリピン大学農学部教授として、フィリピン、ロスアンゴスに滞在中であります。

われわれは、来たる年次大会にはこの偉大なるロータリアンを衷心から歓迎するため、今から万全の準備にかかうではありませんか。

そして、このような新しい地域社会の欲求について、その政治的、社会的、経済的原因を理解する仕事に専念しなければならないということを示唆するものである。吾々は大胆に現在に直面しなければならない。

今日の世界事情は吾々のすべての関心事であらねばならないということが、ロータリアンの心の中にあることは疑いもないことである。吾々の個人的目標の一部として、国際理解の造成における吾々の目的を、日常生活に一層鋭く焦点を合せねばならない。不幸にして吾々は冷戦の危機と国際緊張の継続を予期し得るのみである。分割された世界に統一をもたらすという課題の重大さに驚かないようにしようではないか。手をこまぬいて「それはどうにもならない」という結論に逃場を求めることのないようにしようではないか。平和への個人的進路を見出そうではないか。

吾々の目的とは、政治家や外交官の分野であるところの複雑な問題に大胆かつ勇氣ある解決策を捜すことではない。吾々の目的は、簡潔な理念に

よって団結している国際的組織の構成員として、吾々の自由に使用し得る力を最大限に利用することにある。

通信手段の驚異的に発達している現代においては、もし吾々が欲しさえすれば、絶え間なく理解のメッセージを伝達し得る吾々自身の特別の友情の組織網をもっているのである。108カ国、9,833中継所にわたって伸び、そして461,000名の聴衆をもつこの組織網を利用し得るのである。一つの部屋に生活していても無数の場所で活動出来るのである。

25世紀前、偉大な予言者の一人が、世界は病みそして張詰めていると判じて「貴方の天幕の場所を拡め、綱を長くし、杭を強化せよ」という訓辭を与えた。個人的生活の線をあらゆる方向にそして地球の果てまでも送り出すことを、吾々はなし得るのである。個人的目標を定め、そして変転する世界の挑みに応えるよう準備する時、至る所の自由人の心をとらえたこのロータリーの理想は、吾々の一部分であらねばならないのだという実感をも、いつも心にとめておくようにしようではないか。

それは帽子か上衣のようにかぶったりとったりするような——外的なものではないのである。それは、常に吾々とともになければならないのである。個人的責任についてのこの観念の影響はロータリアンが切望する精神としてこれを受入れるならば、すべての人々の間における理解という態度を造りうるものである。これこそ核時代が産み出したところ、そしてそれが使われる時、世界は屠殺場となり、吾々の時代における平和と幸福な生活を不可能とならしめる大量破壊の力に対する唯一の解毒剤である。

ロータリーはその運命に向って前進している。この運命の中に貴方がたと私が果すべき役割があるのである。

私は同僚ロータリアン諸君に対し親睦の綱を伸ばし、奉仕の杭を強化し、一緒になることが絶対に必要とされるこの分裂した世界における友情の組織網を一層広める仕事に、私と一緒に参加されることを要望するものである。